



# 北っ子

学校だより 第11号  
令和7年 1月10日  
みやき町立北茂安小学校  
校長 長野 篤志



## あけましておめでとうございます

新年、あけましておめでとうございます。右の写真は、1月8日（水）始業式の日、7：40頃の登校の様子です。この後、たくさんの児童が、ここを通ってきました。

校門を入ると、地面にオレンジのラインが見えると思います。冬休み中に、児童の安全確保と駐車スペースの確保のために、北駐車場の整備を行いました。児童には、このオレンジラインの内側を歩くように指導しています。当日は、児童下校の際にも、挨拶運動で校門近くに立っていましたが、みんなルールを守って下校している姿が嬉しかったです。安全第一で登下校を見守りたいです。



## 3学期スタート

インフルエンザ警報が出され、気を引き締めた3学期のスタートを迎えることとなりました。始業式では、年末年始の過ごし方について聞いてみました。お子様は各ご家庭で掃除や手伝い等、しっかり家族の一員として活躍することができたでしょうか。

私自身、年末はしっかり家の掃除や片付けをがんばって親に褒められたこと、いくつになっても褒められると嬉しい気持ちになることを伝えました。また、いろいろなものを磨いていく中で、とても気持ちよくなっていったことから「磨く」という言葉をプレゼントしました。

「磨く」には、石という漢字も入っていますが、勾玉のようにしっかり磨くとピカピカになること、今がんばっていることや習い事での「技を磨く」ことで、さらにレベルが上がること、「心を磨く」ことで、周りからも認められることを話しました。自分自身、そして友達同士を磨き合う北っ子を育ていきたいです。

私は、廊下で聞こえてくる琴の音を静かに聞いていました。なんだか「懐かしい」という感情と、桜の咲く情景が目に見え、日本の春を感じたところです。

このような、「日本の文化を感じさせる授業」は、とても重要と考えます。グローバル化が推進され、英語を話せるようになることは大切です。しかし、流暢に英語を話しても「あなたの国で大切にしているものは何ですか」という問いに、自分らしく応えることができることも大切です。

今後も、四季や伝統文化を味わいながら、自分の感性や情緒を磨く北っ子を育てていきたいです。



## 6年生 琴の音を聴きながら

1月10日（金）、6年生対象に「琴教室」が行われました。各クラス1時間の設定で、講師の先生をお招きしての体験学習でした。

講師の先生からは、「琴」について、構造や名称、歴史的な価値等についてご教授いただき、実際に演奏するというプログラムで取り組んでいただきました。ほとんどの児童が、初めての体験活動だったと思いますが、真剣に「サクラ、サクラ...」を奏でる姿に心打たれました。

## 2月の行事予定

- |        |                                 |
|--------|---------------------------------|
| 3日（月）  | ～7日（金）特別校時                      |
| 4日（火）  | PTA企画委員会                        |
| 5日（水）  | 授業参観②③<br>食育講演会④                |
| 10日（月） | 全校朝会                            |
| 12日（水） | 学校運営協議会                         |
| 17日（月） | あのね5.6年（最終）                     |
| 20日（木） | PTA企画・運営委員会                     |
| 25日（火） | 生活昼会<br>委員会活動（最終）               |
| 26日（水） | 6年生を送る会<br>お弁当の日<br>（6年生お楽しみ給食） |